

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 235

事業名	民生児童委員運営補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部	福祉課		款	民生費・3款
電話	0799 - 44 - 3002			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	社会福祉総務費・1目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】			
	施策目標	子どもや要介護者をもつ共働き夫婦などが、安心して生活できるよう、地域全体で支える			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 民生委員、児童委員及び主任児童委員				構成人数(人) 160
	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 地域福祉の増進を図る。					
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、もって社会福祉の増進に努めている。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 緑 民生委員児童委員協議会 17名 西淡民生委員児童委員協議会 34名 三原民生委員児童委員協議会 41名 南淡民生委員児童委員協議会 68名 地域福祉の増進				
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 旧町単位 (総合窓口)	<input type="checkbox"/> 旧村単位 ()
	補助金算出根拠	各協議会に対して均等割10,000円、委員数割として委員1人当たり年間63,400円				
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町では、活動内容は同じでも補助金にバラツキがあったため、調整した。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	11,013	10,089	10,058	9,672
	民生委員運営補助金	11,013	10,089	10,058	9,672
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	11,013	10,089	10,058	9,672
	人件費(正規職員)[B] (千円)	2,456	2,392	2,408	2,408
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)	80	80	80	80
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	13,469	12,481	12,466	12,080
「構成人数」一人当り経費 (千円)	84.2	78.0	77.9	75.5	
受益者人数(53,374)一人当り経費(千円)	0.3	0.2	0.2	0.2	
経費に関する 補足説明					

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 各協議会において、地域の高齢者等の相談支援及びボランティアとして活動しており、その役割は大きい。 平成18年度活動状況 相談支援件数 2,800 件 活動件数 7,378 件 訪問回数 12,947 回 活動日数 11,595 日	自己評価 (5点評価) 5
	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 民生委員児童委員は、常日頃から、地域において援護を必要とする方々の把握やニーズの確認を行い、災害が発生した際には援助活動を実施する関係機関や地域住民と連携しながら、安否確認等の中心的役割を担うことが強く期待されている。また、一方では今日、地域における福祉課題は、児童や高齢者への虐待、孤独死、引きこもりなど、多様化するとともに外からは見えにくくもなっており、この福祉課題の解決のためには、問題を発見し、支援につなげる地域の機能が重要となっており、それを住民の身近なところで実践する民生委員児童委員の役割に期待するところは極めて大きいものがある。	自己評価 (5点評価) 5
	自己評価をふまえた現状分析 今後益々高齢化等が進む中、民生委員児童委員の役割が重要となり、その活動経費等については、今後も必要と思われる。	<p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p>
総合評価		

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減
	<p>民生委員児童委員の活動は、非常に公益性が高く、その活動内容や範囲は年々多くなってきているので、今後とも、経費節減に努めて頂きながらもその活動に係る経費について支援は必要である。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)	<p>補助金積算根拠一人当り単価のうち、県連負担金分を除く運営費の部分について、@58,200円から@55,000円へ5.5%の減とする。</p>	同左
改善によって期待される効果	<p>活動は継続しつつ予算節減となる。</p>	同左
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 地域福祉の減退になる。</p>	